

K3思想

〈NIEセミナー講演会 感想〉

私は今回の講演会で初めて通信社について知りました。新聞記事はすべて新聞社が書いているのだと思っていたので、通信社さんが書いた記事を載せてもらっているということにとても驚きました。様々なところに記事を提供しなければならないのは、とても大変な事だと思いました。これを機に、これからは記事を読む時は書いている会社を気にしながら読もうと思いました。

あまり身近ではないように思っても意外とちかくにあるお仕事で、危険のなかでも多くの人に伝えるためにチャレンジする姿はすごいと思いました。海外の支社との交流もあるとおっしゃっていたのでいろいろな言語を習得しなければならぬのは大変だと感じました。

NIEセミナー講演会 感想

講演会で初めて聞くことが多くありました。ニュースや新聞に出る情報がどうやって来ているのだろうと疑問に思っていたので知ることができてとても勉強になりました。

私はこの講演会を受けて、自分から積極的に何事にも取り組もうと思った。私はやりたい事は多いけれど、自発的に行動する事は全然できないので自分からやる気と好奇心を持って、いろいろな物事に取り組んでいきたいと思う。また私は自分が将来やりたい事が決まっていないので、広い視野を持って経験量を豊富に、知らないことを知るに変えていき、知らないことがない人になれるといいと思う。

通信社というのをはじめて知って、学びました。たくさんの危険もありながら、学ぶことも多くあるのだと言つていました。私的にはそこが、すごく魅力的だと感じました。いろいろ、経験できるので考え方も変わって、人として成長できそうだなと思いました。今回のお話で、新たに人生が変わるきっかけとなるかもしれないなとも思いました。

感想

今回お話を聞いて、自分のなりたい職業について、違う視点から考えることができました。

海外に出てみると異文化についての理解が重要で、そこで、したいこと、しなければならない事ができるようたくさん学ばなければなりません。

どんなに理解できない文化の中でも取材をすることにとてもびっくりしました。私だったら、怖くて、逃げ出してしまうとおもいます。

これからは、もっと好奇心旺盛にいろんなことに取り組んでいきたいです。

感想

私は講演を聞くまで通信社が一体どういう事をしている会社なのか全く知らなかったのですが、お話を聞いているうちに、私には想像もできないほど大変なお仕事なさってるいんだなと感じました。

今回特に印象に残ったのは四川大地震のお話です。多くの人々が亡くなつた災害なのに、情報規制が敷かれて、最後まで取材を続けることが出来なかつたと聞いて、すぐ隣の国で起こつてることなのに全く知らなかつた自分を恥ずかしく思いました。

これまででは外国の情勢にあまり興味がなかつたけどこの経験を機に、新聞の海外情勢の欄にも注目したいです。

通信社は聞いたことがあったけれど、どういう職業なのか詳しくは知らなかつたので、今日のNIEセミナーの講演会を聞いて、少し理解できた気がします。

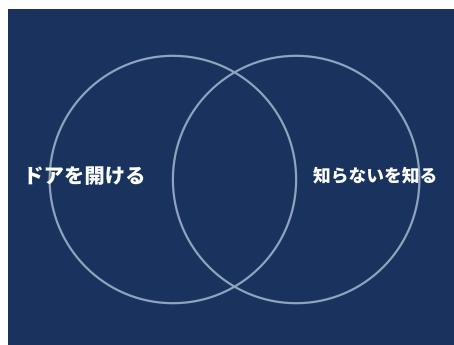
海外で起こっている問題や経済などを、実際に現地まで取材をしに行くのはすごく大変で、危険なお仕事だなと思いました。

私達が普段何気につけていたテレビや新聞の記事は、通信社が提供しているということを今日の講演を聞いて初めて知りました。

中国での大地震の際に、実際に震源地まで行って取材したという話を聞いて、命がけで取材を行う姿勢に感動しました。

テレビで放送されたり、新聞が発行されるまでには沢山の人の協力があるんだと思いました。

私は今日の講演会に参加するまで通信社という存在を知りませんでした。「メディア」や「報道」と聞くとテレビ局や新聞社などが思い浮かびますが、通信社はそれを裏で支える存在だなと感じました。特派員は現場の状況をチェックしたり、外交関係を観察するというお話を聞いたので、特派員として働くためには語学力は当然必要だし、現地の人に取材するためのコミュニケーション力や異文化理解力、また外交関係に関する知識など様々なスキルが無いとできない大変な仕事だと思いました。また、中国は監視社会なので報道への制限があることは知っていましたが、そんな中でも大変な思いをしながらでも日本に情報を伝えてくれていると知ってるので私の中でのメディアに対する見方が少し変わりました。



好きなことを仕事にして、自分の仕事に誇りを持つことはとても大事なことだと思いました。

特に印象的だったのが「ドアを開いてみないと分からぬ」という言葉です。何事もとりあえず一步目を踏み出さないと始まらないということを改めて学ぶことができました。

将来どの職業に就くかどうかは分かりませんが視野を広く、興味を持ち続け、やりがいを感じれるような仕事をしたいです。

NIE講演会の感想

とても面白かったです。
あまり他国ニュースや問題を知らなかっただし、
未知なことが多かったので知れてとても楽しかったです。
そして講演者さんのように危険な状況の中、一生懸命に頑張っている人は
世の中に沢山いるのだろうなと痛感しました。
また中国は監視社会であると初めて知り、
中国政府のことは詳しくわからないですが、多くの問題を整え、
国民の不安を少しでも和らげてほしいと思いました。
他国の方には申し訳ないですが、今回の講演会に参加して、
日本に暮らせていることを改めて嬉しく感じました。
いろんなことに興味を持って、沢山の選択肢を増やしていきたいです。

今日の公演を聞いて、より海外への興味が湧きました。私は最近留学に行ってみたいなと思う事があって、日本と海外の文化の違いや考え方の違いなどを体感してみたいと思ったからです。実子さんもおっしゃっていましたが、海外に行って視野を広げてみたいと思いました。

興味があることはまず行動に移す事が大切なんだなと思いました。

私たちがニュースで見ているものと実際の現地での感じる事や、事実が違っているのだなと改めて知る事ができました。

今回のお話を聞いて、特派員のことや通信社のことを知れてよかったですし、面白かったなと思いました。

通信社の本社に経済部や文化部、英文部などがあって、たくさんあるんだなと驚きました。また通信社は世界各国にあって、特派員はその地域へ行くと知り、特別な仕事なんだなと思いました。

私は今回の話を聞いて、世界各地に行って私たちに情報を与えてくれていることを知れてよかったですと思いました。

今回の講演会を聞いて、私は、時事通信社という存在を初めて知りました。国語表現の課題をきっかけに新聞を見る機会が増え新聞に興味があったので新聞が作られる過程の1つである特派員の方たちの仕事の内容なども学ぶことができ勉強になりました。

また、最後の言葉であったやる気と好奇心と広い視野を持つことが大切だということを聞いて何事にもまずは挑戦することが大切だということを改めて考え直すきっかけになりました。

NIEセミナー講演会の感想

私は、取材にあたる記者のことを特派員というのは初めて聞きました。

仕事は、いろんな国情報入手、取材、地元メディアのお仕事や対日関係をはじめ外交ウォッチは大変そうだと思いましたが、有名人に会えるのは魅力的だと思います。

何事にも「やる気」「好奇心」「広い視野」が大切だとおっしゃっていたので、この3つを意識しながら、生活していきたいです。

今日はありがとうございました。

講演会を聞いて

特派員の仕事は大変だなと思いました。中国での危険な取材を通して、日本に情報を渡す大変さも感じました。また、情報を届けることで救える命があることを知ってとてもやりがいのある仕事だなど興味を持ちました。自分も好奇心、やる気、広い視野を持って何事にもチャレンジしていきたいと思います。

通信社のことを聞いたことがなかったので通信社について少し知ることができて良かったです。

仕事をする上で『やる気』『好奇心』『広い視野』を持っていることが大切だと言っていたので私も将来の夢に向けて身につけていけるように頑張りたいです。

特派員という言葉自体がどんな意味で何を知ることから始まった。その言葉を聞いてもいったい何なんだろうという疑問しかなかった。通信社は聞いたことがあったし、なんとなくわかったけど、記者を実際近くで家族がやっていたのを見たけど私は大変だからなかなかやりたくないなと思った。だけど漢字に興味があってそれをやり続けているのはすごいと思いました。

講演を聞き、記者のお仕事についてたくさん知れてよかったです。
聞いたことのあるワードがいくつもあり、面白かったです。
また、なににおいても努力する事は本当に大事なことだと思いました。
今回学んだ事を忘れずに将来に活かせたらな。と思いました。

今回の講演会を聞いて、通信社の記者の方たちがどんなことをしているのかを初めて知りました。何気なく見てきた新聞記事を次は意識してみてみようと思いました。

また、今回の講演会で、記者の仕事に関わらず何事にも好奇心を持って色々なことに挑戦することが大切だということに気付かされました。

高校三年生として今、将来のことについて色々なことを考えていますがもっと広い視野をもって自分のやりたいこと、興味のあることについてどんどん挑戦していきたいと思います。

通信社というのが何か知りませんでしたが、今回の講演でよく知ることができました。私が聞いていて驚いたのは、海外から日本へ、その国にいる通信社の従業員が伝えるということです。私の知らない世界もまだたくさんあるんだなと改めて感じました。

特派員になるまでの道のりやそこでしか経験できないことを聞けて面白かったです。初めて聞く言葉が多くあったけどお話が面白かったので聞いてて楽しかったです。現地に行ってみないとわからないことが多いあることを改めて知ることができた。異文化を理解するためには足を運ぶ必要性があることそして、記事でしかその人のことを知れないけど取材行くことでその人の人柄が分かったりなど多くのことが聞けて良い機会でした。

今回の講演会では、丸山さんの経験のお話から改めて「物事を知っている」ということは財産になるということがわかりました。高校三年生の今でこそ、やっと将来どういう人になってどういう職業に就きたいのかが少し見えてきましたが、高校一、二年生の頃は自分の好きなことでどのように働くのか、そして自分の好きなことでどのようにすれば経済的にある程度安定した生活を送れるのかというところで悩んでいました。今日の話を聞いて好きなことから自分の努力次第で世界はどれだけでも広げることができるのでということがわかりました。怖いことから逃げず向き合い、挑戦することで視野も広がり、より豊かな人間になれるのだということを忘れずにこれからも頑張っていきたいです。

感想

通信社という会社について、名前もどういう会社なのかということを知らなかつたので知ることができて良かったと思いましたし、私が知っている職業はほんの一部分だけだったことを痛感しました。また、海外で働くということは自分にとって考えられないことだったので、そこに飛び込んでいく勇気と行動力にとても関心しましたし、中国はとても怖いところというイメージなので私ならもし許可が出たとしても行こうとは思わなかつたと思います。お話を聞いて海外で働くということは文化や考え方を理解し、受け入れるべきだということを感じましたし、それを行動に移す難しさというものも感じました。

面白かったです。ウイグル自治区の問題は地理で学んだところだったので、実際に現地に行かれた方のお話は非常に興味深かったです。情報を国民へ、世界へ伝えるかっこいいお仕事だと思いました。目前で世界が動いていく現場を目の当たりにするなんて、ワクワクしますが、情報の伝える方1つで世界が変わるので、少し怖いような気がしました。

通信社という職を初めて聞きました。

新聞が新聞社以外の組織からも作られていると初めて知り、
新聞が複雑であると気付きました。

自分は新聞を読まない為、現地にまで向かってインタビューするという事を知りませんでした。前回のNIEの講演会では国内でのとある事件のインタビューをしたお話を聞きましたが、今回の講演会は普段じゃ知る事の出来ない貴重なお話を聞かせてもらってよかったです。

海外での取材は、言語も伝わりづらく、意思疎通も不可能なので一度危険が迫れば助けてくれる存在が殆ど居なさそうでとても怖そうです。

私は今進路に悩んでいます。興味があるものが一切ない為、こういった好奇心で行動するものは自分には縁がないなと思いました。

最後に言っていた、いろんなことを調べてみると
いう言葉を聞いて、これから将来必要になることや大
切にしていた方がいいものを自分なりに調べていこ
うと思いました。

《感想》

通信社というものを今まで知らなかつたので、興味深い話ばかりでした。早い情報を手に入れるということは、苦労も絶えなかつただろうと思いました。

お話を來ていた通信社の方は海外で働いたことがあるとおっしゃってましたが、文化の違いとは計り知れず、理解はできても受け入れてくれるわけではありません。ウイグル族の問題やデモの話に添えられた写真を一枚見るだけで緊迫した状況が伝わってきました。その場にいたのだから、私なんかよりずっと緊張があったでしょう。それでも、堂々と話している姿がとても素敵でした。

この話を聞いて、グローバル化が進む現代は海外のニュースにも目を向けてしていくことが大事だと思いました。